

2030年ビジョン/2021-23年度中期経営計画の振り返り

■ 2030年ビジョン ■

Company of Choice Globally ～世界中で選ばれる会社～

会社を取り巻く環境がかつてないほどのスピードで大きく変わっていくなか、すべてのステークホルダーに「愛知製鋼グループはこれからどうすべきか」という指針を示す必要があると考え、2020年8月に愛知製鋼グループ2030年ビジョンを策定しました。

目指す姿・経営指針

当社グループは経営理念や価値観であるAichi Wayを基盤に、特殊鋼や鍛造品、電子部品・機能材料など高品質な素材の提供を通じ、地球環境と社会、そして従業員に価値を提供することで、年輪的成長を目指します。

持続可能な地球環境への貢献

- ① 環境責任を果たす
- ② 低炭素社会に貢献
- ③ 自然との共生



事業の変革で豊かな社会を創造

- ① 既存事業の変革
- ② 新分野へ事業展開
- ③ モノづくりにこだわり、コトづくりを支える



従業員の幸せと会社の発展

- ① 安全・安心な職場環境
- ② ワーク・ライフの充実
- ③ 自律型人材の輩出



2021-23年度中期経営計画の振り返り

2021-23年度中期経営計画は、2030年ビジョンの実現に向けたスタートとして今後3年間で取り組む重点課題と達成までの道筋を具体化した実行計画と位置づけ、2050年カーボンニュートラルや、自動車業界におけるCASE進展、DXなどのデジタル技術の進展、グローバル競争の激化などに対応するため、さまざまな施策を展開してきました。

経営目標と実績

	2023年度目標	2023年度実績
売上収益(億円)	2,508	2,965
営業利益(億円)	150	103
営業利益率(%)	6.0	3.5
配当性向(%)	30.0	29.9
ROE(%)	5.5	2.9
設備投資額(億円) ^{※1 ※2}	512	581
有利子負債(億円) ^{※2}	627	733
減価償却費(億円) ^{※2}	169	183

※1 2021-23年度の合計

※2 当社単独

振り返りと課題

最終年度である2023年度の売上収益は当初目標を上回ったものの、営業利益については特殊鋼や鍛造品などの売上数量減少や電力価格をはじめとしたエネルギーコストの高騰などが影響し、目標未達となりました。基幹事業での安定した収益の確保と成長事業でのさらなる利益拡大などが、今後の主要な課題として顕在化しました。

・基幹事業：鋼カンパニー（特殊鋼）、鍛カンパニー（鍛造品）

・成長事業：ステンレスカンパニー（ステンレス鋼）

スマートカンパニー（電子部品、機能材料）